



国際センター通信 (No. 21)

橋本前会長挨拶

平成 25 年度は日本大学生産工学部（千葉）で開催された全国大会において「持続可能な社会を実現する社会インフラの適切な維持管理・更新」をテーマとして国際パネルディスカッションを実施し、9 の国と地域の海外協定学会等から参加がありました。また、国際ネットワークの拡充では、留学生を主な対象とするインターナショナル・サマースイポジウムが全国大会の国際セッションとして開催されました。

アジア土木学協会連合協議会（ACECC）では、インドネシアのジャカルタで開催された第 6 回アジア土木技術国際会議（CECAR）に会長として参加しました。そして、ACECC 事務局を土木学会が担当することになりました。

二国間交流の強化も各方面で進められました。会長としてインドネシア（HAKI）、ミャンマー、ネパール、オランダ、韓国、イギリス、アメリカ、ヴェトナムの工学会等と交流ができました。アメリカの土木学会は、パナマ運河開通 100 年を記念して今年 10 月にパナマ大会を開催します。我が国の土木学会創立 100 周年記念事業と合わせて成功を期待します。

さらに、国際センターシンポジウム講演会「日本の建設企業の海外進出を考える」を 3 回、「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」シンポジウムを順次開催しています。

フィリピン中部を襲った台風 Haiyan による災害（2013 年 11 月 8 日上陸）に対しては、フィリピン土木学会と合同の調査団を形成し、現地調査を実施しました。（2013 年 12 月 12 日～16 日）

平成 26 年度は、11 月に 100 周年記念式典とともに、防災に関する円卓会議および国際フォーラム「社会インフラの豊かな生活への貢献」を開催します。

この 1 年間会長を務める間に、会員そして国際センターの多大なご協力に感謝するとともに、今後とも国際交流が進展することを期待して、退任の挨拶とします。ありがとうございました。



土木学会 前会長
橋本 鋼太郎



2013 年全国大会海外ゲストとの記念写真 日本大学生産工学部会場にて

第2回 留学生向け企業説明会開催

国際センター留学生グループでは、日本で学ぶ留学生に日本の土木関係の企業を知ってもらうとともに、就職情報提供の機会として、5月31日（土）に留学生向け企業説明会を土木学会（東京）にて開催しました。昨年に続き、第二回目の開催となります。企業12社からのご協力を頂き、9社からのプレゼンおよび、企業ブースによる個別説明とパンフレット配布をしました。参加留学生は47名で、主に関東の大学からの参加でした。



留学生 Gr.リーダー
東京大学 長井宏平

【参加企業】

(株) エイト日本技術開発、(株) 大林組、(株) 片平エンジニアリング・インターナショナル、(株) 片平エンジニアリング、基礎地盤コンサルタンツ (株)、清水建設 (株)、大成建設 (株)、大日本土木 (株)、(株) 長大、戸田建設 (株)、西松建設 (株)、日本工営 (株)



企業のプレゼンの様子

最初に各企業から10分ずつのプレゼンがあり、プロジェクトや業務内容、留学生の採用についての情報が提供され、留学生は熱心に聴講しました。続いて、企業ブースの時間が設けられ、留学生は企業の詳細や採用情報などを収集するなど、関心の高さがうかがえました。

今回は、昨年の開催の際に実施した参加企業と、留学生へのアンケートの結果を反映し、企業のプレゼンの時間を短く、企業ブースでの説明時間を長く取りました。プレゼンをコンパクトにすることで、留学生は集中して聴講し、詳細情報は各ブースで得られるようになりました。

説明会は、留学生と企業のマッチングの場として、双方に大変好評でした。しかしまだ、日本企業の留学生への認知度は低く、また採用条件も採用数が少ないこともあり、必要な日本語レベルも含め明確でなく、留学生にとっては理解しやすい状態とは言えません。留学生グループでは、参加者からのご意見を反映させるなど、開催方法を改善しながら継続的（年1回程度）に企業説明会を開催することで、留学生と企業がコミュニケーションできる場を提供していきます。



企業ブースでの説明

第100回定時総会での表彰

平成25年度の国際関連の表彰は、国際貢献賞4名、国際活動奨励賞15名、国際活動協力賞（今年度より新設）5名の方が受賞されました。所属は各賞候補の推薦のあった当時のものです。

詳細はコチラ>>>http://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2013.shtml

◆国際貢献賞

氏名	所属
池田 甫	日本工営(株)
國田 治	(一財)国際臨海開発研究センター
坂本 忠彦	(一社)日本大ダム会議・日本工営(株)
AHN, Hee-Do (安 熙道)	韓国海洋科学技術院(KIOST)

以上（敬称略）

◆国際活動奨励賞

氏名	所属	氏名	所属
石渡 幹夫	(独)国際協力機構	田中 重明	大成建設(株)
梅田 智樹	(株)安藤・間	仁田 聡	佐藤工業(株)
大串 哲也	飛島建設(株)	原田 達夫	アフリカ開発銀行
大迫 一也	清水建設(株)	丸高 茂幹	鹿島建設(株)
大島 孝博	前田建設工業(株)	宮里 達也	日本工営(株)
定松 道也	(株)大林組	薬丸 信之	(株)フジタ
重山 琢治	三井住友建設(株)	渡部 要一	(独)港湾空港技術研究所
鈴木 誠一	東京電力(株)		

以上 (敬称略)

◆国際活動協力賞

氏名	所属
KO, Wu Te (柯 武徳)	正修科技大学
Jorge MULLER (ホルヘ ミューラー)	(株)オリエンタルコンサルタンツ
SHIH, Wen - Hsiung (施 文雄)	台湾交通部
Phan Le BINH (ファン レ ビン)	(独)国際協力機構
SUN, Limin (孫 利民)	同済大学

以上 (敬称略)

◆国際センター海外分会関係者の表彰



李 東郁教授(左)・ 柯 武徳助教授

韓国分会会長の李 東郁 釜慶大学校教授が名誉会員の称号を授与されました。また、台湾分会幹事長の柯 武徳 正修科技大学助教授が国際活動協力賞を受賞しました。

イベント情報

- 2014/8/5・・・世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ 第2回シンポジウム「フーバーダムパイパス コロドリバー橋」(東京 - 土木学会)
http://committees.jsce.or.jp/kokusai/project_2
- 2014/8/26～28・・・インドネシア土木構造工学会 (HAKI) 年次大会 (インドネシア - ジャカルタ)
- 2014/8/28～29・・・大韓土木学会－日本土木学会－台湾公共工程学会ジョイントセミナー (韓国 - 釜山)

お知らせ

- ◆ 土木学会誌の特集記事の概要を JSCE の website (英語版) にアップしました。
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆ 土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No. 37 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>
- ◆ 土木学会創立 100 周年記念切手が 9 月 1 日に発行されます。
<http://jsce100.com/node/250>

ご協力のお願い

国際センターでは、国際活動に関する“情報発信の強化”を目標に掲げ「国際センター通信」を配信しておりますが、さらに配信先を拡大し、皆さまと情報を共有していきたいと考えています。

つきましては、皆さまより周囲の方々へ国際センター通信をご紹介いただき、国際センター通信の定期的配信を希望される方には、次の登録フォームよりご登録いただくようご案内いただけませんか。何卒、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「国際センター通信配信希望者 登録フォーム」

- ・日本語版 : (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版 : (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

◆掲載記事募集します◆

国際センター通信では、会員の皆様から幅広く投稿記事を募集しています。国内外の産学官界に所属する技術者、研究者、行政官および学生等に配信すべきと考える記事の投稿を受け付けます。テーマはプロジェクト紹介、技術紹介、ご自身の体験談などです。

国際センター通信をより充実した、読み応えあるものにして行きたいと考えておりますので、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

記事投稿の詳細はコチラ>>> (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>)

Yの独り言

今年の土木学会定時総会において、韓国分会の李先生が名誉会員の称号を授与され、台湾分会の柯先生が国際活動協力賞を受賞されました。会場でお二人の名前が呼ばれた時、とてもうれしくて、思わず拍手をしていました。お二人は素晴らしい技術者のみならず、一緒にお仕事をするに楽しい方々であり、私たち IAC の良き友人であり、KSCE と CICHE の交流には欠かせないリエゾンです。お二人がいなかったら KSCE や CICHE との交流がどうなっていたか。そこで思うところ、私たちは、お二人と同じぐらい一生懸命にやっているのでしょうか？お二人の期待に沿うような行動をしているのでしょうか？私たちからお二人の元に出向いて行っているのでしょうか？ どう思いますか？

【ご意見・ご質問】 : JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。

